

榎^{まき}尾^の山^をは橋より南にして、北に向ひたる山なり。〔土人丸山といふ〕

新後撰 春きてもたれかはとはん花さかぬ榎^{まき}のを山の曙の空

玉 葉 あさぼらけ榎^{まき}の尾山は霧こめて宇治^{うち}の川長舟よばふなり

雅 經

土御門内大臣